

学校基本方針
医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。
学校教育目標
① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士の養成
本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.7	学校の将来構想についての考察が必要。 学校の理念目的等が学生や保護者に周知できているか不確かである。	運営を協議する場で取り上げ、議論する必要がある。 学生や保護者、外部に対し積極的に周知活動していく。	評価は概ね良いようだが、学生・保護者に本校のことが誤解されるような事象が発生しており、学生への対応を見直す必要がある。 共学にしたことはニーズに沿っているのではないかと、理念経営が実行されているか評価が必要。
学校における職業教育の特色は何か明確に示されているか。	3.7			
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2			
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.3			
各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.4			
(2) 学校運営				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
目的などに沿った運営方針が策定されているか	3.5	組織運営において風通しの悪い部分がある。 専任教員の数が足りない。 まだまだ業務のITC化ができる箇所があると思う。 人材不足のため、個々の業務が多すぎる。（専任教員、事務） 専任教員の業務内容をこえているものもあるため、本来の学生教育に不安を感じる。	組織運営について役割の整理と明確化、効率化が必要である。 より良い学校運営ができるように更なる努力が必要。 各業務を精査し ICT化できるように検討が必要。 若い人材の確保。	教員が一人増員したことにより人材不足は解消され、個々の業務の負担は軽減されていくと考えられる。ICT化については具体的に明示し、着実に進めていく必要あり。非常勤の校長OBの早期採用に向け採用条件等の骨組みを作成する。教職員同士の関係性の向上を図る。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5			
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.2			
人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.0			
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2			
業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1			
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.5			
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.8			

(3) 教育活動				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8	教育体制の充実（専任DH増）など、教員の知識、技能、指導力向上のために割く時間を確保すること。学生教育以外の雑務に時間を取られ専任教員の研修時間がなかなか取れない。専任教員の数が足りない。業務過多のため、時間的にも余裕がない。	マンパワー増による行き届いた教育体制を目指す。業務の効率化や増員を行い、研修受講の機会と時間を確保する必要がある。より良い学校運営を目指し、専任教員の数を増やす。歯科衛生士の職種や業務の周知（インターンシップなど）を行う。教育の為の研修会への参加。	概ね良好であるが、専任教員に対する研修が行われることが望まれる。校長OBの早期採用実現。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6			
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9			
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.4			
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2			
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.2			
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0			
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.1			
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9			
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9			
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1			
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.0			
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.0			
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.6			
(4) 学修成果				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・就職率の向上が図られているか	3.8	卒業後のキャリアの把握が必要。卒業生の現状把握ができていない。	卒業生のフォローアップを行う方策を考える必要がある。卒業生を含めた新たなネットワークの構築が必要。	学内の学生への対応は問題ないが、卒業生に対しての働き掛けはLineを利用しているネットワーク構築を試みている段階のようなので、それを進めるのか、新たに別の方法を取るのかを決める必要がある。
・資格取得率の向上が図られているか	3.8			
・退学率の低減が図られているか	3.3			
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.8			
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.6			
(5) 学生支援				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8	卒業生への支援体制。卒業生の現状把握ができていない。保護者連携は少ない。経済的な支援体制。	卒業教育、リカバリー研修の体制構築。連絡先を把握するなどして卒業生へのアプローチ手段を確保する。卒業、現役の学生も含めたネットワークを確立しその中で支援できるシステムを作る。	課題に対する改善策は、それだけで十分だと考えられる。
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.7			
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.4			
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4			
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.3			
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.1			
・保護者と適切に連携しているか	3.2			
・卒業生への支援体制はあるか	2.9			
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.1			
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.3			
(6) 教育環境				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1	設備のアップデートが必要。インターンシップの設備はない。校舎の老朽化。故障した時の予備がない。	古くなった機材の入れ替え等を計画を立てて行っていく。概ね良好と思われる予備の器材を確保する。	概ね良好
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2			
・防災に対する体制は整備されているか	3.5			

(7) 学生の受け入れ募集				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	定員の確保 定員割れ 学生募集活動に問題はないが 毎年 入学人数にばらつきがある 広報担当がいらない。 入学者数の今後の減少	学生募集活動を見直し、効率化を図り、新規の策を考える。 学生募集の更なる改善点を見つけ 活用していく。 学生募集のやり方を変更する。 広報担当の配置。 学生募集活動の体制の確立。	専門の広報担当を配置することが望ましい。 無料媒体のSNSを積極的に更新していく。教員が厳しいのであれば学生に協力を仰ぐ。10代にはTikTokか？
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5			
・学納金は妥当なものとなっているか	3.5			
(8) 財務				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.3	財務状況の改善。 校舎老朽化に備える財務的基盤がない。	支出削減、収入増加の策を募り、それを実行していく必要がある。 本会と協議しながら 新しい学校運営を目指していく	予算、決算についてはかなりスリム化されており問題ないと考えられる。学生数により予算の大幅な増減があるため、安定した財源の確保が望まれる。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.3			
・財務について会計監査が適正に行われているか	3.8			
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.5			
(9) 法令等の遵守				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.6	問題点の改善のスピードが遅い 概ね良好と思われる	協議で取り上げる際に、不要に継続にせず結論を出す。 更なる改善点がないか 協議していく。	概ね良好
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7			
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5			
・自己評価結果を公開しているか	3.8			
(10) 社会貢献・地域貢献				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.8	地域との連携が取れていない。 社会貢献 地域貢献に関しては 余裕がないし システムができていない。	施設や教育資源を活用して地域への情報発信を行っていく。 ボランティアの推奨 支援を構築する。	学校全職員、学校生徒が参加できる地域へのボランティア活動を探索し、継続的に参加していくことが望ましい。今回中止になったが、合同オリエンテーションに行く前30分早く集合し、本校周辺の歩道のゴミ拾いを行ってはどうか。地域のニーズの聞き取りを行ってはどうか。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.0			
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.8			